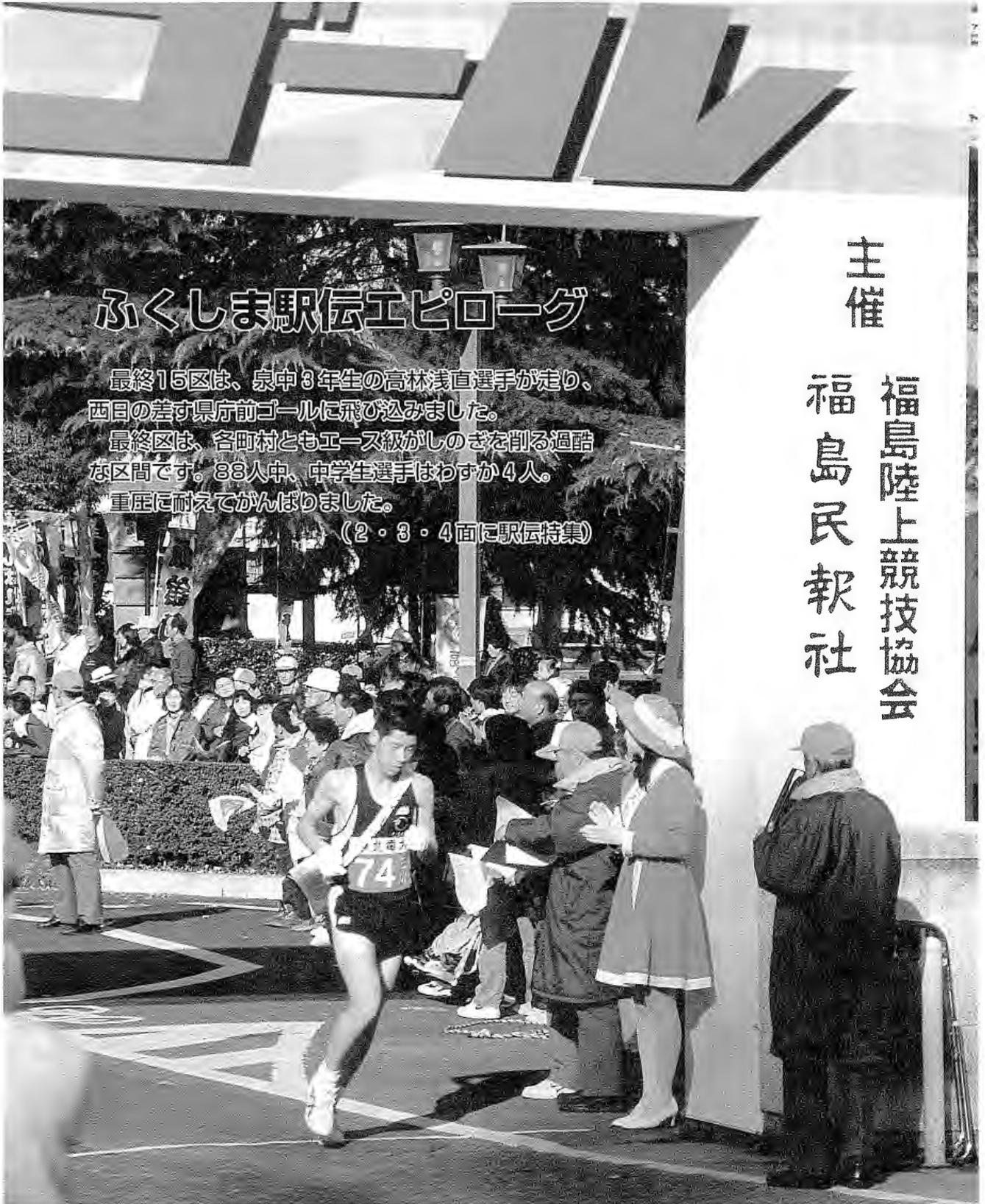


たまかわ

1997

12
No.376

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



ふくしま駅伝エピローグ

最終15区は、泉中3年生の高林浅直選手が走り、西目の差す県庁前ゴールに飛び込みました。

最終区は、各町村ともエース級がしのぎを削る過酷な区間です。88人中、中学生選手はわずか4人。

重圧に耐えてがんばりました。

(2・3・4面に駅伝特集)

主催

福島陸上競技協会
福島民報社

第9回 市町村対抗 福島県縦断駅伝競走大会

第15区 8.8km 高林浅直選手 (泉中3年)	第14区 3.8km 鈴木文子選手 (清陵情報高2年)	第13区 10.5km 深谷亮選手 (学法石川高1年)	第12区 10.8km 小針正光選手 (東京精工(株))	第11区 8.9km 塩澤和彦選手 (工房(和))	第10区 3.1km 國井希選手 (泉中3年)	第9区 5.2km 大越強選手 (須釜中3年)	第8区 5.4km 高林浅隆選手 (泉中2年)	第7区 8.1km 関根宏樹選手 (帝京安積高2年)	第6区 6.4km 小林弘典選手 (泉中2年)	第5区 7.3km 大竹邦光選手 (泉中2年)	第4区 8.8km 関根勝夫選手 (学法石川高3年)	第3区 8.6km 鈴木悟選手 (日大東北高1年)	第2区 3.3km 深谷明日香選手 (泉中2年)	第1区 3.9km 高橋由美子選手 (学法石川高1年)
-----------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------



「初めての駅伝で、いきなりアンカーになって緊張しました。朝早く1区の人たちががんばっていたので僕も一生懸命やろうと思って精一杯がんばって走りました。とてもいい思い出になりました。」



「思うように走れるかどうか少々不安だったので、スタートしてからは何も考えずに走りました。自分なりに精一杯走ったので悔いはありません。」



「11月の初めに風邪を引いてしまい思うような調整ができなかった。でも走り終えることができてホッとしました。来年は、もっと安定した走りができるようにしたい。」

本村チームは、前半順調な走りを見せて、30位台をキープしていました。しかし、今年もトップのいわき市がダンツの速さで他チームを引き離し、繰り上げスタートになるチームが増えてゆく中、本村チームも第7区中継地点の須賀川市役所前で無念の線上スタートになりました。

しかし、その後も強風や冷たい小雨に悩まされながらも精一杯の走りでご各選手が繋ぎ通しました。
総合タイム6時間15分28秒でアンカーの高林浅直選手が福島県庁前ゴールに飛び込み総合59位、村の部(26チーム中)13位となりました。選手皆さんお疲れ様でした。

総合59位、村の部13位



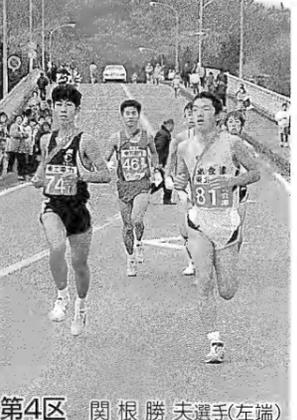
「今まで練習をやってきて最後まで走れたので良かったと思います。自分なりにがんばったので良かった。監督、マネージャー、係員、泉婦人会の皆さん、今までお世話になりました。ありがとうございます。」



「福島駅伝で走って自分は良い経験にもなり、よい思い出になりました。そして、この体験を生かしてこれからの役に立てていきたいと思っています。」



「風は強かったが、思いっきり走れたので悔いは残らなかった。来年も一生懸命練習して、せむい出場したいです。」



「今日の福島駅伝は、風が強くて思ったように走れなかった。タイムも目標のタイムで走れなかった。でも、順位を上げたので良かったと思います。」



「向かい風が大変強く走りづらかったが、全体的に自分のペースで走れたので良かった。」



「ペースを守れて走れて良かった。タスキを渡せなかったのが残念でした。」



「チームの皆さんにも、応援してくれた皆さんにも申し訳なく思います。コンディションが悪くベストを尽くせなかったのが残念でした。」



「5キロ過ぎからの向かい風がきつくて苦しい走りだったが、沿道での声援に励まされ何とか目標に近いタイムで走り抜くことが出来、満足しています。サポートしてくれた皆様、いつもありがとうございます。」



「『どうしてあの時もつらくなればなかったのか』これが私の今の気持ちです。死ぬ気で走れなかったのが心残りです。応援してくれた皆さん、本当にありがとうございました。」

「思った通りの走りが出なくて残念でした。来年はもっと力をつけて頑張りたと思います。」



「今年は初めてだったけど自分なりに精一杯がんばったと思います。タスキをもらう時、3~4秒遅れてしまってみんなに迷惑をかけたしまいました。来年は練習がんばります。」



「強風のためとても走り難かった。最悪でした。」

大会結果を報告

選手団解団式を開催

第9回ふくしま駅伝大会の本村選手団の解団式は、11月23日(日)午後6時から村民体育館で行われました。

式は、選手、役員、保護者などの関係者が集まり行われました。塩澤主将から車田本部長に団旗が返還されたあと、選手一人ひとりに本部長から出場記念のメダルが首に掛けられました。



車田本部長から記念のメダルを授与

今日の経験を

これからの人生に

選手解団式では、車田村長(本部長)から「きょうは大変悪条件の中での大健闘にうれしく思っております。この貴重な体験を今後の人生の中で生かして行ってほしいと思います。実行委員会、家族の皆さん本当にご苦労さまでした」と選手、サポーターに労いのことが述べられました。

また、渡辺助次郎実行委員長、宗形徳次議会副議長、小原嗣男教育委員長からそれぞれあいさつが行われました。

強風の中 がんばった



溝井監督の話 「中・高校生が主体の若いチームで心配な面も多少ありましたが、全員、持味を出してがんばってくれました。強風の悪コンディションの中、良く走ってくれました。ご苦労様でした。」



左から深谷明目言さん、亮さん兄妹、高林茂隆さん、浅直さん兄弟

選手の皆さん お疲れ様でした

選手団解団式の終了後に村就業改善センター一階日本間で選手を囲んでの会食懇談会が行われました。

会食の準備は、玉川村食生活改善推進員よつばの会(双里不二枝会長)がボランティアで行い、三色おにぎりや団子汁、オードブルなどが振る舞われました。

選手、関係者は大会を振り返っての懇談に花を咲かせて楽しい時間を過ごしました。



和やかな雰囲気の中会食懇談会

兄妹・兄弟で 出場

本村選手団に2組の兄妹、兄弟選手が出場しました。第2区と第13区を走った深谷兄妹(川辺)深谷節夫さん・洋子さん夫妻の長男、長女)、第8区と第15区を走った高林兄弟(中)高林浅光さん・信江さん夫妻の2男と3男の2組です。

4名とも若い選手なので、これから益々の活躍が期待されています。

鹿島スタジアムなどを見学

お座敷列車で行くふれあいの旅「玉川村民号」は、11月15日から1泊2日の日程で行われ、参加者92名が茨城県鹿嶋市方面の旅を楽しみました。泉郷駅前広場から出発して、二が行われ、主催者を代表して車田村長からあいさつが行われました。出発を記念してのテープカットが行われたあと、郡山方面から入車してきたお座敷列車3両にそれぞれ分乗して和やかな旅の始まりとなりました。

発車後、車内ではそれぞれ

に懇談会が行われ、村長からは村政の概要が説明されたあと、飲食とおしゃべりで楽しい時間を過ごし、「これは退屈しなくていいな」という声も聞かれました。列車は、水戸駅を經由して鹿島臨海鉄道に入り鹿島神宮駅に到着。鹿島神宮を参拝したあと遊覧船で潮来12橋めぐりをしました。



鹿島スタジアムを見学中の参加者

歌や踊りに大熱演 夜の懇親会は大賑わい

一行は、潮来町にある利根川を望む潮来ホテルに宿泊となりました。

旅の楽しみは何といっても夜の宴会です。双里昌光区長会長の音頭で乾杯されると旅の疲れも無く、歌や踊りで盛り上がりしました。「エゾ穴太郎」なる芸名?の歌手も出現したりで会場は爆笑の渦となりました。

第二日目は、バスで銚子市まで移動して醤油工場と犬吠

崎灯台、魚市場をそれぞれ見学しました。

再び鹿嶋市に戻って、プロサッカーチーム「鹿島アントラーズ」のホーム球場である鹿島スタジアムを視察。球場内まで入ることが許され、綺麗に手入れされた芝を直に感じる事が出来ました。

鹿島神宮駅から再びお座敷列車に乗り換えてカラオケなどで楽しみながら帰途につき



お座敷列車 鹿嶋・潮来への旅

“楽しかったなあ”



夜の懇親会

村社協に優良表彰状

全国社会福祉会から

村社会福祉協議会(車田次夫会長)は、11月14日(金)に東京都の日比谷公会堂で行われた全国社会福祉大会の席上、優良社会福祉協議会として表彰されました。

表彰式には、専門員の岩谷勝雄さんが出席して全国社会福祉協議会の長尾立子会長から表彰状と記念のメダルを受



「をお願いします」と話していました。

け取りました。同表彰は、県内からは本村社協のほか、2つの社協が表彰されました。11月17日にふれあいセンターで行われた村社会福祉協議会の役員会に受賞の報告がされました。席上、車田会長は、「役員皆様のご労苦に感謝申し上げますとともに、今後とも社会福祉活動にご協力

地球を旅して

文化講演会 ラリー体験を語る

平成9年度玉川村文化講演会は、11月12日(水)午後6時30分から国際ラリーライダース山村レイ子(40歳)さんを迎えてマーヴェラス末広で開かれました。

山村さんは、今年のダカールラリーに二輪車で出場。ご主人とともに、見事、完全走破を果たしました。過去、同ラリーには2度出場しましたが、いずれも無念のリタイアを体験していました。また、



山村さんは「今、勇気を示すことが出来なければ、後になつて勇気を示すことは出来ない」という言葉を大切にしてください。会場の皆さんも感動しきりでした。

“欧州農業を研修”

9/3 ~ 9/16

榊枝義二さん(北須釜)が参加

平成9年度の福島県農業経営者海外派遣研修事業は、9月3日から14日間の日程で行われ、本村北須釜の榊枝義二さん(53歳)が参加しました。



研修は、全県下から41名が参加してドイツなど5カ国を訪問しました。野菜、花き、果樹、畜産の4つの班に分かれて、それぞれ有意義な研修が行われました。

研修レポート(上) “夢見たヨーロッパ”

私にとって、初めての海外研修は不安が多く、心配しながらの2週間でした。研修先は、ドイツ、オランダ、スイス、デンマーク、フランスの5カ国を廻る、ハードスケジュールの中、これらの国々のほんの一部を見て廻りました。共通して思われることは、平坦で雄大な農地、大型機械、大型施設、自給飼料、窓辺に

咲く美しい花の国であったと思う。ドイツは大型農家民宿へ泊まり、ドイツ農業の講義を聞き、マイスター制度で農業やその後継者の意識を高めて、青年が誇りをもち、専業農家を目指していることを聞きました。山羊飼育と農家民宿、リンゴ農家を研修し、自給飼料により生産し、加工、直販

もしている。また市場への出荷、民宿は、都会の人々のこいの休み場、交流の場として使われ、家庭で、休暇を楽しむ様になった。

オランダは干拓事業により発展した国、ドイツとは一変して広々とした草地に牛、馬、ひつじ、豚など様々な動物の姿が目の前に美しく見える。アールスメール花市場、試験場、切り花、鉢花農家を見、美しい花とコンピユータ化された、規模の大きさに驚きました。

スイスでは複合経営農家と野菜農家を研修し、複合農家で見た経営は、正に自給自足で乳牛、豚を飼い、飼料は皆自給で、豚にはチーズ粕、ザンパンを利用して、家庭の食糧は加工し、冷凍、乾燥、瓶詰めとそれぞれ貯蔵されており、また水を利用して、自家発電所まで持っているのは驚きました。野菜は虫には天敵防除し、病気には低農薬と安全性が見られた。

晴天にめぐまれ、アルプスの山々の風景は雄大で、グリンデルワルドより、ユングフラウヨッホ山頂まで、また山

第3回 よい歯のコンクール

平成9年度第3回よい歯のコンクールの表彰式は、10月24日(金)に村保健センターで行われ、次の子どもたちが表彰されました。



黒田 香菜ちゃん (岩法寺・泰吉)

小針 駿 弥くん (中・仁一)

曲山 拓 美くん (藤生・寛廣)

坂本 柚 花ちゃん (川辺・隆)

有賀 伊 吹くん (吉・喜彦)

大越 祐 輔くん (南須釜・吉孝)

阿部 成 美ちゃん (南須釜・公平)

吉村 静 也くん (南須釜・博)

小林 一 也くん (竜崎・正一)

小林 史 弥くん (竜崎・雅之)

頂よりの眺めは絵で見る現物そのものである。国の政策で農業が重視され、山岳酪農が行われ、ブラウンスイスの群が目につく。観光美と自然保護が国と国民が一体となって守られている。安定農業保証制度がうかがわれた。

デンマークでホームステイがあり、2泊3日養豚農家アンドベントツ御夫妻宅へお世話になりました。仕事の忙しい中、車で迎えてくれました。家の経営は豚の繁殖と肥育一貫で飼料は皆自給飼料でまかない、不足な物だけ購入されない、不足な物だけ購入されない、不足な物だけ購入されない。

最後のフランスでは世界一と言われるランジス中央市場を見学、230haの敷地と3,000人が働く市場は広く、市場の一角野菜市場を見る。あらゆる品種がありました。ルーブル美術館、ベルサイユ宮殿、ノートルダム寺院など見学・歴史の長さ建物、文化遺産に感動しました。目で見、身体で感じたことを、今後少しずつ役に立てればと思っています。

最後に、お世話していただいた関係機関の皆様方に感謝申し上げます。また、我が班員、団員のご協力により研修できましたこと、感謝いたします。団員の皆様と知り合ったことを忘れず、皆様の今後、地域でご活躍をされるようお祈り申し上げます。



アンドベントツ家でホームステイ(デンマーク)



いずみ幼稚園の園児たち

「勤労感謝の日」を前に泉保育所といずみ幼稚園の児童が駐在所、郵便局、役場など訪問。役場では、「おしごとこくろうさまです」と皆で声を掛けて、代表の児童が花を小針助役に贈りました。

訪問した児童にはお礼としてお菓子が配られました。



受賞された皆さん

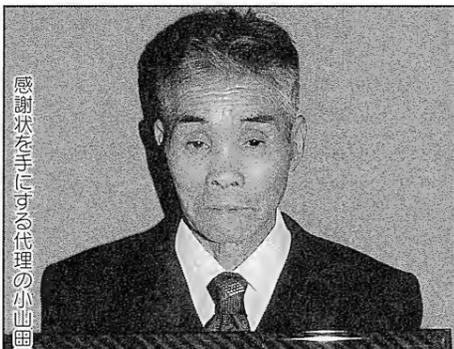
あけぼの会などに功労者表彰

県中地方公衆衛生大会

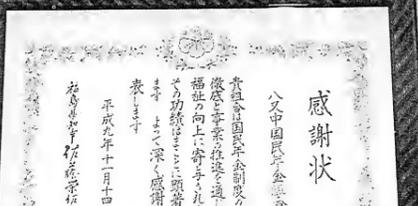


須賀川市文化センターで県中保健所管内の市町村の関係者が出席して第1回公衆衛生大会が開かれました。大会では、公衆衛生活動に功績のあった個人61名と21団体に表彰状が贈られ、本村からは次の方々を受賞しました。

- ◇県中地区衛生組織連合会長表彰
 - あけぼの会ボランティアグループ
 - 双里不二枝(小 高) ●大和田昭子(吉)
- ◇石川地区公衆衛生協力会長表彰
 - 車田光子(小 高)
- ◇県赤十字血液センター所長感謝状伝達
 - 曲山孝夫(蒜 生) ●小原幸春(南須釜)



感謝状を手にする代理の小山田正良さん(組合長の弟)



八又中納税組合に知事感謝状



福島県文化センターで行われた国民年金事業優良団体等表彰式で南須釜の八又中納税組合(小山田照良組合長)に優良民間地区組織として県内69組合とともに知事感謝状が贈られました。八又中納税組合は、国民年金事業の推進に協力され、保険料の納入成績が優良であることが評価されました。

玉一小5年生 「稲の一生」を学習

玉川第一小学校(水野岩男校長)の5年生50名は、JAあぶくま石川泉支店の米倉庫を見学しました。本店営農課の大平係長さんから稲作の歴史や生産、米の流通過程についての説明を受けたあと、活発な質問が行われ、農業の基幹作物である稲作についての学習をしました。



大平係長さんの説明を真剣に聞く児童たち



表彰状を手にする奥野さん

奥野さんに表彰状

地方自治50周年記念



県などが主体となって地方自治法施行50周年を記念した記念式典が福島テルサ(福島市)で開かれました。式典では、地方自治に功労のあった個人と団体に表彰状が贈られ、本村から前村議会議員の奥野義章さん(75歳・岩法寺)が受賞しました。奥野さんは、村議会議員として6期24年在職し議会発展に尽力され、また農業委員として活動されたことが認められての受賞となりました。

チャリティ募金を社協へ

村長杯ゴルフコンペで



玉川村長杯ゴルフコンペ実行委員会(大木 実委員長)では、11月12日(水)に石川カントリークラブで第11回村長杯ゴルフコンペを行いました。コンペには、128人が参加しました。コンペ終了後、マールヴェラス末広で行われた表彰式で参加者によるチャリティ募金が行われ、97,471円が集まり、村社会福祉協議会に寄付されました。



村を通じて社協へ贈られました

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場総務課広報広聴係まで



賞状と楯を手にする有賀さん

家庭の日の作品コンクール

有賀さんと草野さんに最優秀賞



福島県青少年育成村民会議主催の家庭の日作品コンクール県大会で、須釜小2年の有賀千紘さん(吉)の「じゃがいもかぞく」が作文の部で最優秀作品に選ばれました。また、書写、書道の部でも草野美恵子さん(山小屋、須高3年)が最優秀作品に選ばれました。受賞式は、県文化センターで行われ、有賀さんと草野さんに賞状と楯が授与されました。



フォッカー-50からの救出訓練

福島空港で救難訓練

航空機事故を想定



航空機事故を想定した消火救難総合訓練が福島空港エプロンで、消防、警察、医療などから200名が参加して行われました。

福島空港上空で故障し、緊急着陸したB767機が炎上したとの想定で行われ、本村からも消防関係に消防団員20名と車両3台が出勤して消火作業などに真剣な表情で取り組んでいました。



～お座敷列車で行く ふれあいの旅から～

12月の健康ごよみ

- 17日(水) 母親教室 午前9時15分～
- 育児教室 午後1時
- 18日(木) 機能訓練 午前10時
- 19日(金) 1歳6カ月児検診 午後1時30分～
- 吉いぎい教室 午前9時30分～

伝言板



新年互礼会開催のお知らせ

玉川村の新年互礼会は、次の日程により開催いたします。
 なお、参加を希望される方は、事前に参加申込を忘れずにしてください。

- 日時 平成10年1月5日(月) 午後2時
- 場所 マーヴェラス末広
- 会費 3,000円
- 申込方法 玉川村総務課(57)4621までお申込みください。
- 申込期限 12月22日(月)まで

年末年始の衛生処理日程

- ◆燃えるごみの収集
 年末～平成9年12月30日(火)まで収集します。
 年始～平成10年1月6日(火)から収集します。
 ※12月31日から1月5日までは収集を行いませんのでごみステーションに出さないで下さい。
- ◆危険物(燃えないゴミ)の収集
 西部地区 平成9年12月25日(木)
 東部地区 平成9年12月26日(金)
 ※平成10年1月1日、2日は休みとなります。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 岩法寺の大竹代一さんから 3万円
- 山小屋の石森正人さんから 3万円
- 小高の溝井英雄さんから 3万円
- 小高の小山田 亨さんから 10万円
- 小高の溝井徳永さんから 3万円
- 南須釜の小原雅俊さんから 2万円
- 第11回玉川村長杯ゴルフコンペ実行委員会から 97,471円
- 東京玉川会からふるさと福祉事業として 145,000円

村のようす

- 1,745戸(+4)
- 7,642人(+8)
- 3,740人(+6)
- 3,902人(+2)

お誕生おめでとうございます

地区	出生児氏名	保護者名
岩法寺	奥野 快都	学 光
〃	小林 巧香	保 清
〃	小宅 彩	徹 清
南須釜	蕪木 紗姫	徹 清
〃	蕪木 紗姫	徹 清
〃	高宮 瑞希	清

おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
小高	小山田 康雄	73	タリ 雄
〃	溝井 マサヨ	84	英 永
〃	溝井 永太郎	78	徳 一
岩法寺	大竹 定之	86	代 雄
南須釜	小原 リウ	79	春 人
山小屋	石 森 キク	82	正

今月の納税

固定資産税 第3期
 国民健康保険税 第6期
 国民年金保険料 12月分
 (納期限は12月25日(木)です。忘れずに納めましょう。)

玉川村短歌会佳作抄

母親は刈る手休めずいつしかに泣き寝入りせし睦の幼は
 かまきりもそれなりに持つ心意気触れば戦う構えを見せる
 乗拾う頭上の枝に鳩のいて声野太く森を震わす
 天水を溜めて飲料水となす小笠原を偲ぶつづく千天に
 亡き夫の墓に供えし女郎花匂いますかと声かけてみる
 雨避けて刈り急ぐ稲田の向こう一列車遅れて紅葉の散る
 謎なぞで遊びし頃の懐かしさいまはどうにも解せぬ謎も

村公民館

- 佐久間栄蔵
- 小針 登里
- 真弓 はん
- 小針 守次
- 吉田 サヨ
- 真弓五三郎
- 白旗 隆

学ぶ意欲、をバックアップ 国の教育ローンです

ご利用いただける方	ご融資金額	利率	ご融資期間	お使いみち	ご返済方法	保証	お申込窓口
つぎの高校に入学、在学される方の保護者又はご本人 ●高校、高等専門学校 ●短大、大学、大学院 ●専修学校、各種学校、予備校(認可されたもの) ●盲学校、聾学校、養護学校の高等部など ●外国の高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院(6ヶ月以上の留学に限ります。) ●その他職業能力開発校などの教育施設(中学卒業以上で修業年限が6ヶ月以上の教育施設に限ります。)	学生・生徒お一人につき150万円以内	年2.7%(平成9年8月31日現在)	8年以内(在学期間以内で元金据置可能。但し、最長4年) 交通遺児家庭または母子家庭は1年の延長が可能	1、入学時に必要な費用(入学時学校納付金、受験のための費用、その他入学のために必要な費用) 2、在学中に必要な費用(授業料等学校納付金、下宿代等住居にかかる費用、通学に必要な交通費)	元利均等毎月払い(ボーナス併用返済、ステップ返済、半年賦・年賦返済も可能)	(財)教育資金融資保証基金または保証人1名以上	郡山市清水台1丁目6番21号 国民金融公庫郡山支店 ☎0249(23)7140

サラリーマンの確定申告

◎サラリーマンの確定申告
 大部分のサラリーマンは、年末調整によって一年間の所得税の納税は完了しますが、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を越える人や給与を二カ所以上からもらっている人などは確定申告が必要です。
 また、多額の医療費を支払った人や災害にあった人などは、確定申告をすると源泉徴収された所得税が還付されることがあります。
 詳しくは、お気軽に最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

納税は期間内に

◎納税は期間内に
 納税は社会の基本的なルールです。日ごろから納税のための資金手当を行うなどして、期限内の納税をお願いします。所得税の予定納税あるいは消費税や法人税の中間申告及び納付については、確定申告とは別にそれぞれ期限が定められていますのでご注意ください。

郵便番号が変わります 5ケタから7ケタへ

年賀状からOK

郵便番号は、来年2月2日から7ケタになりますが、年賀状も7ケタの郵便番号で記入していただくようお願いいたします。



オカ	小高	963-6312	ヒ	藤生	963-6314
カ	川辺	963-6313	ミ	南須釜	963-6302
キ	岩法寺	963-6311	ヤ	山小屋	963-6305
ク	北須釜	963-6304	ニ	山新田	963-6306
ケ	電崎	963-6316	ホ	吉	963-6303
コ	中	963-6315	ヘ	四辻新田	963-6301

年賀状は、12月24日頃までにお出し下さい。

狩猟期間中です ご注意ください



11月15日から来年2月15日までは、狩猟期間中です。
 狩猟者の皆さん、狩猟中の事故に十分注意をしてください。また違法捕獲のないようにしてください。

趣味の達人

⑨

『お御興じくりなご』………岩谷

繁さん

今月の中の岩谷 繁さん
 (71歳のお御興)じくりなごの
 趣味をご紹介します。

「秋のお祭りには岩谷さん手
 作りのお御興が村内各地でみ
 られますよね。」

「今までに全部で18くらい作
 っています。半分くらいは村
 内に寄附しました。」

「いつ頃から作り始めたんで
 すか。」

「15年くらい前です。」
 「一作られた動機はなんだった
 んですか。」
 「いずみ幼稚園でダンボール
 製のお御興を担いでいるのを
 見て、木で出来ているものを

担がせたいなと思ったのがき
 っかけです。」

「何をモデルにして作るんで
 すか。」

「写真を見たりします。」
 「製作期間はどれくらいかか
 るんですか。」

「毎日やらないで、少しずつで
 すから、約半年はかかります。」

「現在も製作中なんですか。」

「今も2基製作中のものがあ
 ります。」

「だれかに習ったんですか。」

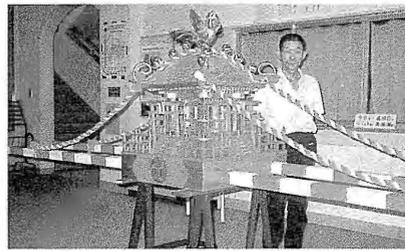
「いいえ。独創ですね。」

「一とでも器用ですよ、以前
 は面打ちをされたこともあり
 ましたよね。」

「観音像です。10体くらい彫り
 ましたね。」

「そのほかに『書』もやられ
 ています、いつ頃からはじ
 められたんですか。」

「昭和61年頃だったと思いま
 す。」



「昭と61年頃だったと思いま
 す。」
 「今までは教授の資格をお持ち
 ですか。」
 「漢字と細字の部の師範です。
 実用書の試験が1月にあるん
 です。」
 「その他にも何かやられてい
 ますか。」
 「菊づくりや写真も少々やって
 います。」
 「一車の免許証も最近とられた
 んですよ。」
 「66歳になってからでした。」
 「どの趣味も若いうちから始
 めたものではなくて50歳を過
 ぎてからだそうです。」
 「これ
 からでは遅い。」などという考
 えは捨ててチャレンジ精神を
 持つ大切さを知りました。」



古文書を読みあそぶ石井さん

シリーズ「私の宝もの」⑧

石井庄八さん(小高)

私の宝ものは、昭和53年頃に妻の
 実家を普請する際に唐紙から見つ
 けた「古文書」です。

この古文書を岩谷浩光さんに見て
 もらったら、私の実家の先祖のもの
 であることが判明しました。白河藩
 の庄屋だった時代のものでした。自
 分の先祖のものであったことから凄
 く興味を持ちました。しかし、古文
 書を読むことなど全くできません。
 「自分でも読める(理解できる)よう
 になりたい」という気持ちが大きく
 膨らみました。その後、岩谷浩光さ

んが各地で開催していた古文書教室
 に足を運びました。

今は、簡単な古文書などは読める
 ようになりました。もし、この古文
 書が見つからなかったら、古文書な
 どに興味を持つことも無かったと思
 います。私を古文書研究に誘ってく
 れたこの古文書は私にとって大切な
 宝ものです。

東京玉川会コーナー



心に残る 我がふるさと

『心のふるさと』

埼玉県川口市
 大野清七さん
 (南須釜出身)



黒部アルペンルートで

世界的に誇れる玉川村の発展
 誠に喜ばしく思います。

私は、昭和12年から18年当時
 玉川村で小学生として、楽しい
 若き芽生え、人生の最も重要な
 基礎の原点の時代を過ごしたこ
 とが現在の人生生活に大変役に
 立っています。

私は「技術は身を助ける」と
 いうことを小学校の高学年時に
 知りました。このことが私の人
 生を決定づけました。戦前の昭
 和19年に上京し、日立製作所に
 入社。機械の技術を身につけて
 「機械の中心は何か、全ての機
 械に役に立つものは何か」を考
 え、歯車に目を付けました。歯
 車は、主としてホブという機械
 で造る。これが世界的な考えで
 す。これを越す機械を造れない
 ものかという発想から私は独自
 の機械を開発し、歯車を造って

います。主として、建設機械、
 造船その他あらゆる大型機械の
 歯車として現在使用されていま
 す。

私の造った歯車を付けた建設
 機械が福島空港で活躍し、空港
 造成の手助けが出来たことは、
 陰ながら玉川村の発展の一部の
 役に立ったかと思えます。

東京玉川会は、県の誘致企業
 視察研修にご招待いただいた際
 車田村長さんの勧めで加入させ
 ていただきました。玉川村を出
 て働いている私たちに村の情報
 とふれあいを設けてくださって
 いる村長さんはじめ役員、
 役員の皆様に感謝申し上げます。

今では、空港のある玉川村が
 私の故郷と言えるのも私の自慢
 です。最後に玉川村、東京玉川
 会の皆様のご健康とご多幸を心
 よりお祈りいたします。